

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【公表番号】特表2010-531370(P2010-531370A)

【公表日】平成22年9月24日(2010.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2010-038

【出願番号】特願2010-513692(P2010-513692)

【国際特許分類】

C 0 8 F 220/24 (2006.01)

D 0 6 M 15/277 (2006.01)

D 0 6 M 15/233 (2006.01)

D 0 6 M 15/248 (2006.01)

D 0 6 M 15/263 (2006.01)

D 0 6 M 15/285 (2006.01)

D 0 6 M 101/20 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 F 220/24

D 0 6 M 15/277

D 0 6 M 15/233

D 0 6 M 15/248

D 0 6 M 15/263

D 0 6 M 15/285

D 0 6 M 101:20

【手続補正書】

【提出日】平成23年3月1日(2011.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

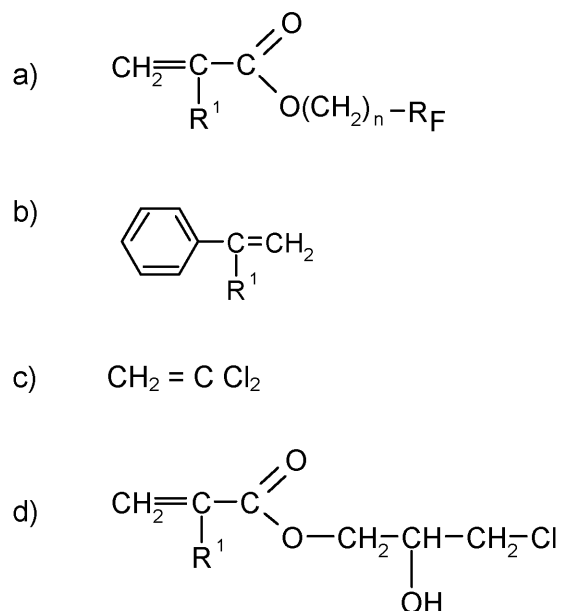
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

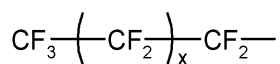
式 a) ~ d) :

【化 6】



〔ここで、全ての基 R^1 は、それぞれ他と独立に、水素又はメチル基であり、 R_F は、式：

【化 7】

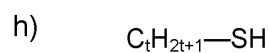
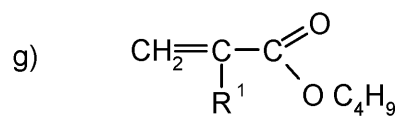
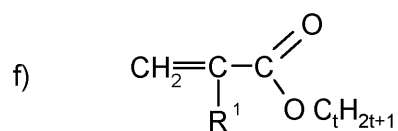
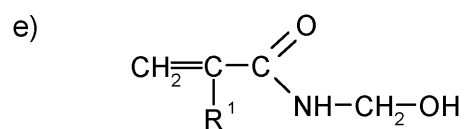


(式中、 x が 2 ～ 22 の数である) のペルフルオロアルキル基であり、
 n は 2 ～ 6 の数であり、ここで n は好ましくは 2 である〕
 で示されるモノマーに由来する共重合ユニットを含むコポリマー。

【請求項 2】

モノマー e) ～ h) :

【化 8】



(ここで、 R^1 は請求項 1 に記載の意味を有し、 t は 8 ~ 24 の数である)
に由来する 1 つ以上の共重合ユニットを追加として含むことを特徴とする、請求項 1 に記載のコポリマー。

【請求項 3】

以下の相対量：

35 ~ 55 mol%、特に 42 ~ 50 mol% の a) に由来するユニット、
8 ~ 55 mol%、特に 20 ~ 45 mol% の b) に由来するユニット、
8 ~ 42 mol%、特に 8 ~ 32 mol% の c) に由来するユニット、
4 ~ 18 mol%、特に 4 ~ 12 mol% の d) に由来するユニット、
3 ~ 16 mol%、特に 5 ~ 12 mol% の e) に由来するユニット、
4 ~ 16 mol%、特に 6 ~ 13 mol% の f) に由来するユニット、
3 ~ 16 mol%、特に 5 ~ 11 mol% の g) に由来するユニット

でモノマー a) ~ g) に由来するユニットを含むことを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載のコポリマー。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 の一つ以上に記載のコポリマーを一つ以上含む水性分散液。

【請求項 5】

繊維材料の処理のための、請求項 4 に記載の水性分散液の使用。

【請求項 6】

繊維材料が、織物、ニット、又は不織布の形態である繊維品であることを特徴とする、請求項 5 に記載の使用。

【請求項 7】

繊維品が、ポリオレフィン、特にポリプロピレンから作られた不織布であることを特徴とする、請求項 6 に記載の使用。